新しい「介護実習」

の実施方法を学ぶ研修会を実施します。

研修名：「新カリキュラム対応介護実習指導研修」

- 2019年度より順次、介護福祉士養成課程のカリキュラムが新しくなり、それに伴い、「介護実習」では新たに3つの『教育に含むべき事項』が示されました。

新カリキュラムの！

新たな介護実習の教育内容

教育に含むべき事項	留意点	想定される教育内容の例
介護過程の実践的展開	介護過程の展開を通して対象者を理解し、本人主体の生活と自立を支援するための介護過程を実践的に学ぶ内容とする。	1) 実習を通じた介護過程の展開
多職種協働の実践	多職種との協働の中で、介護福祉士としての役割を理解するとともに、サービス担当者会議やケースカンファレンス等を通じて、多職種連携やチームケアを体験的に学ぶ内容とする。	1) 実習を通じた多職種連携の実践
地域における生活支援の実践	対象者の生活と地域との関わりや、地域での生活を支える施設・機関の役割を理解し、地域における生活支援を実践的に学ぶ内容とする。	1) 対象者の生活と地域との関わり 2) 地域拠点としての施設・事業所の役割

- そこで、介護福祉士会では、見直されたカリキュラムの内容や、今般見直された介護実習を実施する際の視点等をお伝えする研修を全国的に実施することと致しました。介護実習に関わられる皆様のご受講をお待ちしております。

この研修に関するお問い合わせは、お近くの介護福祉士会までお願いします。